

ISO/TC149/SC1 東京会議参加報告

- 期 日 : 平成21年6月25日(木) 10時00分～16時00分
平成21年6月26日(金) 9時30分～10時30分
- 場 所 : 日本自転車会館2号館801会議室
- 出席者 : Hure(議長:フランス)、Wetterberg(スウェーデン)、Berggren、Pickman、Pfeffer(アメリカ)、Winterman(オランダ)、Legrand、Lagante(フランス)、青山学院大学・小川、(株)シマノ・吉村、木村、ブリヂストンサイクル(株)・小河原、(財)自転車産業振興協会・坪井、亀山、(財)日本規格協会・飯田〔事務局〕自振協・山田(SC1国際幹事)

議題及び結論(各項目の結論は●で記した。):

6月25日(木)

1. 会議の開始

Hure 議長、山田国際幹事による自己紹介があった。

2. 代表者の点呼

会議出席者の自己紹介があった。

3. 議題(案)の承認

- 議題(案)(資料N481)が承認された。

4. 起草委員会の任命

5. 幹事国の報告

内容の説明があった。(資料N480)

5.1 SC1のスキープの変更

- SC1のスキープの変更提案があり承認された。(資料N479)

5.2 リエゾンの見直し

ISO/TC31/SC10(自転車、自動車二輪用タイヤ及びリム)とのリエゾンは、代表者として Legrand(フランス)を指名。CEN/TC333“Cycles”とのリエゾンは、代表者として Berggren(アメリカ)を指名。

- 上記のリエゾンが承認された。

5.3 WGの解散

- WG4(疲れ試験)、WG5(ブレーキ試験)、WG7(照明とリフレクタ)を解散する提案があり、承認された。

6. 国際規格の定期見直し

6.1 ISO4210(自転車)

ISO4210の見直しについて、これまでの経過が報告された。

- ISO4210の改正が提案され、承認された。

日本とフランスからISO4210の改正についてのプレゼンが行われた。

○日本からは、EN14764(シティ車及びトレッキング車)、EN14766(MTB)、EN14781(レーシング車)の3規格について「子供車のカテゴリーの追加」、「にぎりの離脱力試験」、「ねじの安全性」の3点を修正し、ISO4210に改正する旨の提案を行った。(資料N482)

1) 子供車のカテゴリーの追加

- ・子供車については、規定の数値が高すぎる、低すぎる、安定性について検討する必要がある等評価が得られた。

2) にぎりの離脱力

- ・スウェーデンから、日本にも寒いところがある。温水浸漬試験は、オプションとしてはどうか。両方の試験をやるような提案があった。

3) ねじの安全性

- ・ハンドルバーの文言を削除するのはどうなのか。ハンドルバーにも触れた方がいい。ブレーキレバーが抜けることは避けたい。振動でねじが緩むと締めなおさなければならぬ。

○フランスからは、ISO4210 の改正は、EN 3 規格をベースに、パートシステムとし、パート 1 から 3 までがシティ車、レーシング車など個々の自転車の安全要求事項を規定し、パート 4 以下に試験方法の要求事項を規定する旨の提案があった。(資料N476)

- ・日本から、将来新たな車種を追加することを想定して 4 ~ 10 番を空番とし、11 番以下を試験方法の要求事項にした方がいいのではと提案を行った。

○議長からWG (ワーキンググループ) を設置して、議論を進めながら改正作業をするよう提案が出された。

- ・日本はWGを設置しないで、PL (プロジェクトリーダー) 方式で改正作業を進める提案したが、協議を行い、WG方式に同意した。

- ISO4210 の改正は、WG 9 を設置し、EN 3 規格をベースにフランス提案、日本の提案を取り入れて改正作業を進める。改正は 36 ヶ月で行い、最初のステップを 1 年で行う。日程は CD (委員会原案) : 2010 年 8 月、DIS (国際規格案) : 2011 年 8 月、FDIS (最終国際規格案) : 2012 年 5 月とする。

- コンビナー (WG の議長) は、Berggren (アメリカ) とする。PL は小川 (日本) とする。

6.2 ISO8098 (幼児用自転車)

ISO8098 の見直しについてこれまでの経過が報告された。

- ISO8098 の改正が提案され、承認された。PL は、Wetterberg (スウェーデン) とする。

- ISO8098 の改正作業は、WG 9 に割り振られ、EN14765 をベースに改正作業を進める。改正は 36 ヶ月で行い、日程は CD : 2010 年 2 月、DIS : 2010 年 10 月、FDIS : 2011 年 5 月とする。

7. 今後の業務項目

フランスから新規項目に関する提案があった。

1) ISO6742-1,2 (照明とリフレクタ) の改正提案(資料N478)

○光源に LED を追加し、効率、寿命を規定する。前照灯については乗員の視認性と相手からの被視認性を規定する。消費者が選択できるように、安全性を高める。高輝度のライトを追加するなどの内容である。

- ISO6742-1,2 は、投票を行った後、WG10 を設置し改正作業を進める。日程は CD : 2010 年 10 月、DIS : 2011 年 10 月、FDIS : 2012 年 7 月とする。

2) 警音器の新規提案(資料N477)

- 警音器は、投票を行った後、WG11 を設置し制定作業を進める。日程は CD : 2010 年 10 月、DIS : 2011 年 10 月、FDIS : 2012 年 7 月とする。

8. 次回会議

1) TC149/SC1 会議は毎年開催する。

2) 次回会議は、2010 年 10 月又は 11 月にパリで開催する。

- 上記内容は承認された。

9. その他の業務案件

1) ブレーキの試験方法についての提案が日本からあった。(資料N483)

○試験機と実走行で水濡れ時の制動性能が異なることを説明した。

・乗員の体重については、自転車との合計 100kg としているが、それより重い 120kg、あるいは軽い乗員(子供)についても検討が必要ではとの意見があり、又参考になったとの評価を得た。

2) 日本の内外規格検討会において質問するよう求められた EN14765(幼児車)のペダル接地角について角度を 20° から 23° に変更した理由を質問した。

・安全性を考慮し、変更したのではとの意見があったが、具体的な変更理由は分らなかった。

3) IS011243(ラゲージキャリア)の5年見直しの投票が2009年7月15日に開始される。

4) EN71(トイサイクル)については、使用禁止の環境負荷物質部分の規定が厳しくなるとの説明があった。

10. 決議の承認

●決議事項(資料N484)を承認した。

11. 閉会

議長の挨拶で閉会した。

なお、6月25日夕刻よりウェルカム・パーティが開催された。

6月26日(金)

12. BAA/SBAAマーク制度の説明(6月26日)

フランス議長の依頼により、2日目は、(社)自転車協会のBAA/SBAAマーク制度について、自転車協会高橋専務から説明が行われた。

外国委員からは以下のような質問があった。

- ・試買テスト結果の不具合は何か。
- ・SBAA+は製品を対象にしないのか。
- ・BAAのマーク及び試験費用はいくらか。
- ・BAAは何種類の型式に分けられ、検査はどのように行われるのか。

【報告者】

技術研究所開発事業部

亀山 勝弘

本部国際業務部

山田玄一

*本件についてのお問い合わせ先：info@jbpi.or.jp

以 上



【ISO/TC149/SC1 東京会議 2009年6月25日～26日】